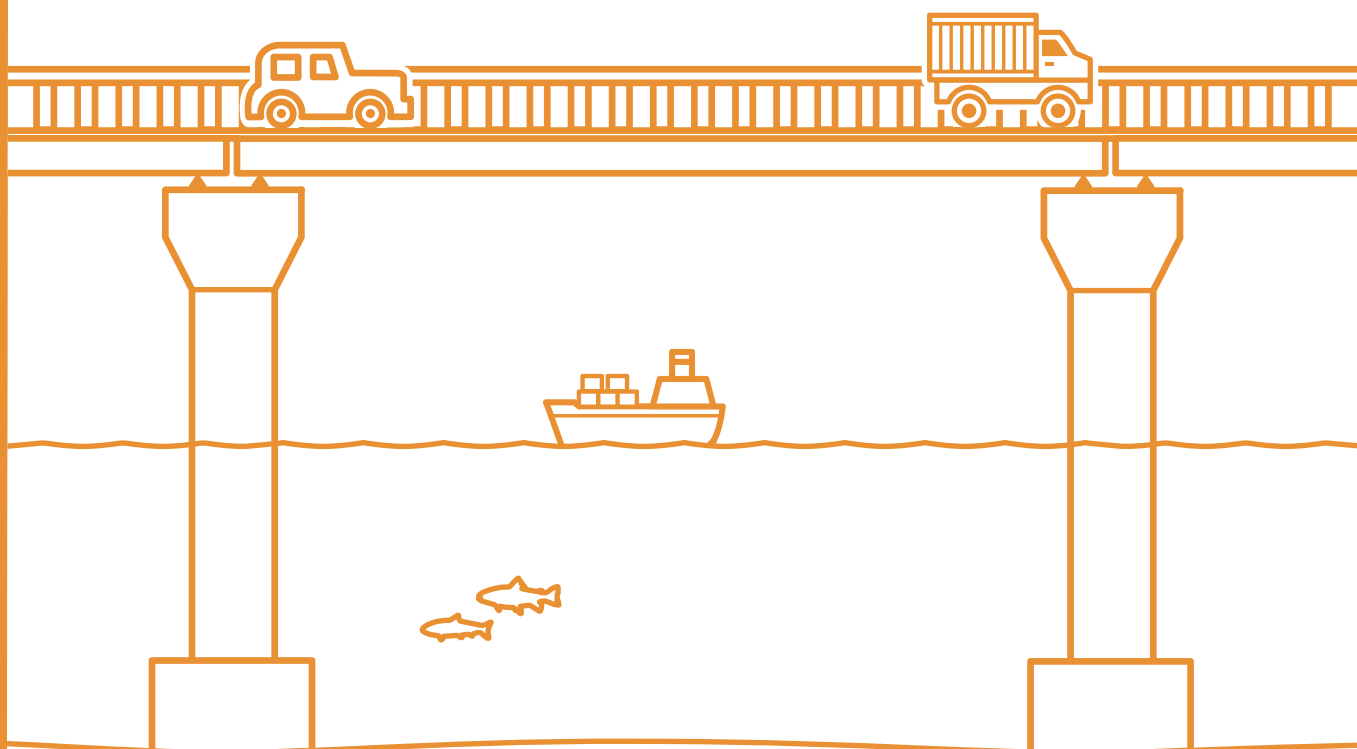




徳島市

橋の長寿命化について



令和6年3月

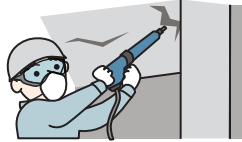
徳島市 都市建設部道路建設課

1

ちょうじゅみょうか
橋の長寿命化
とは？

私たちの生活が便利になるため橋や道路がたくさん造られてきましたが、古くなった橋や傷んだ橋は修理や架け替えが必要です。しかし使えるお金には限りがあります。そこで徳島市は、橋を修理する順番を決めて、これからも長く使っていくため「徳島市橋りょう長寿命化修繕計画」を作りました。

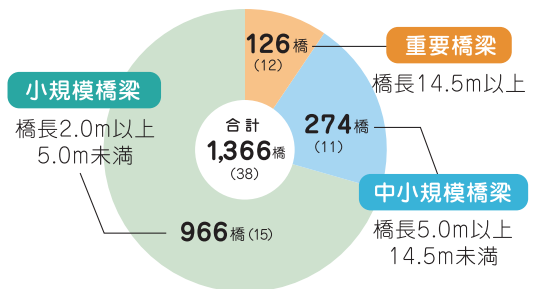
基本方針



- 実践的な長寿命化修繕計画策定
- 実効的な橋梁保全マネジメント
- マネジメント体制の強化

2

徳島市の
現状



()内数値は、歩行者や自転車のみが通行できる橋の数を示します。
[令和6年3月時点]



傷んでしまった橋

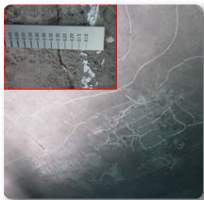
橋を傷める原因には、海から風に乗って飛んでくる塩分や、金属が空気中の酸素と結びつき酸化してできる錆び、長く使い続けてきたびれてしまったこと(疲労)などがあります。



H桁橋の桁端部及び
支承の腐食



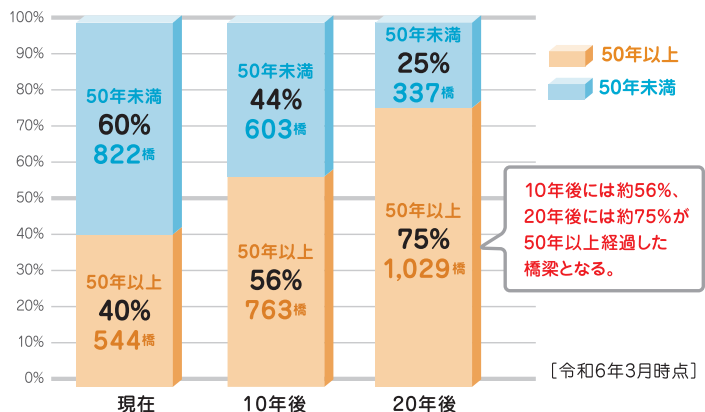
RC床版下面全面に浮き、
剥離・鉄筋露出



床版下面のひびわれ



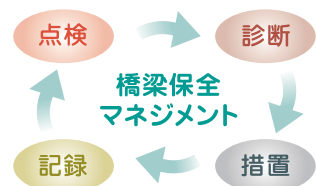
徳島市では橋の長さが2mの小さな橋から、14.5m以上の大きな橋まで管理しています。作られてから50年以上経過している橋の割合は現在で40%、10年後には56%、20年後には75%になります。



10年後には約56%、
20年後には約75%が
50年以上経過した
橋梁となる。

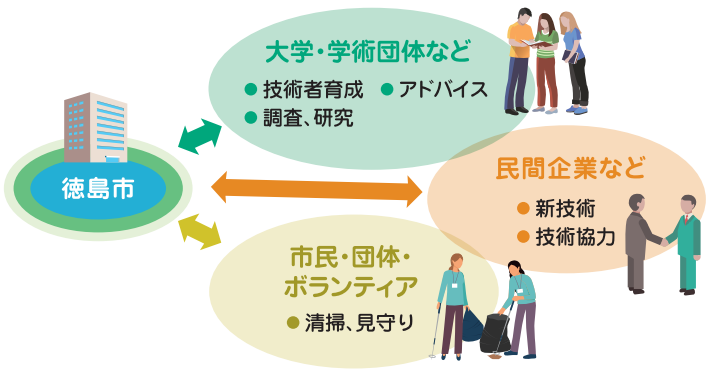
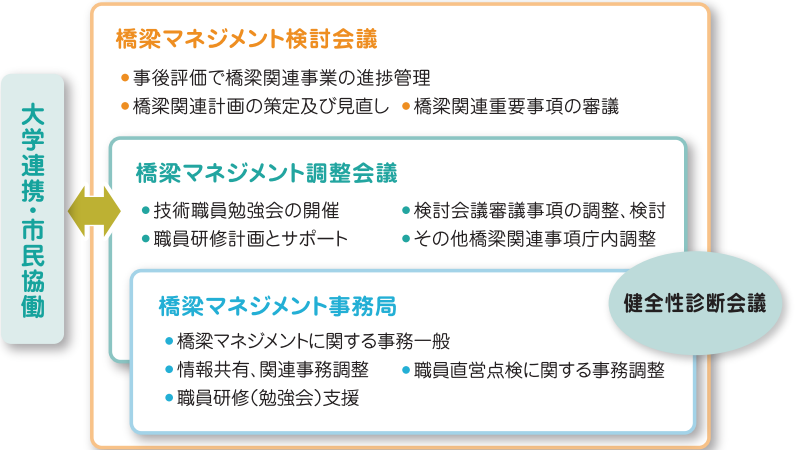
[令和6年3月時点]

橋の状態を把握し、安全に利用できるように管理をしています(橋梁保全マネジメント)。



3 橋の マネジメント 体制

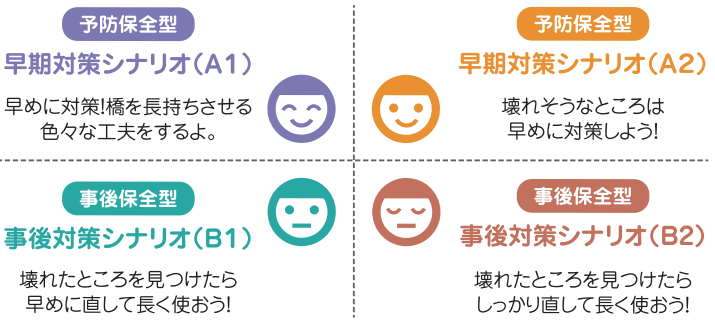
橋梁保全マネジメントサイクルを十分機能させていくため、関係する部署や大学と連携を図ることができる体制を築きます。そして地域住民との協働、大学等によるアドバイス、また民間企業の新技術活用など、地域で一体となり橋梁マネジメントに取り組んでいきます。



4 橋の 維持管理 方針

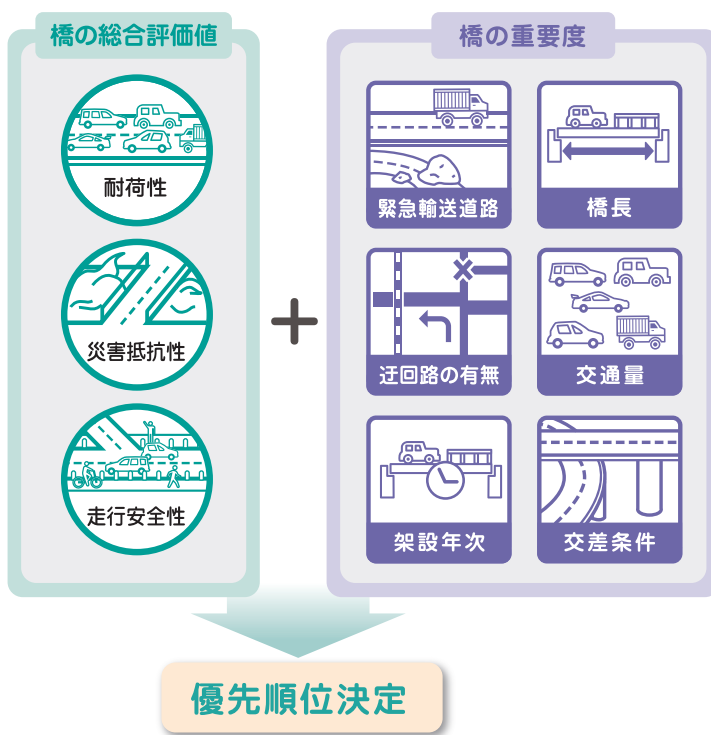
徳島市の現状にあった効果的・効率的な管理をするために、橋を4つのグループに分け、修理内容や修理方法、また何年利用するか、などの維持管理水準を決めました。

橋の点検、診断が終わると対策が必要になります。橋の傷み具合や年齢などの状況によって対策を選びます。

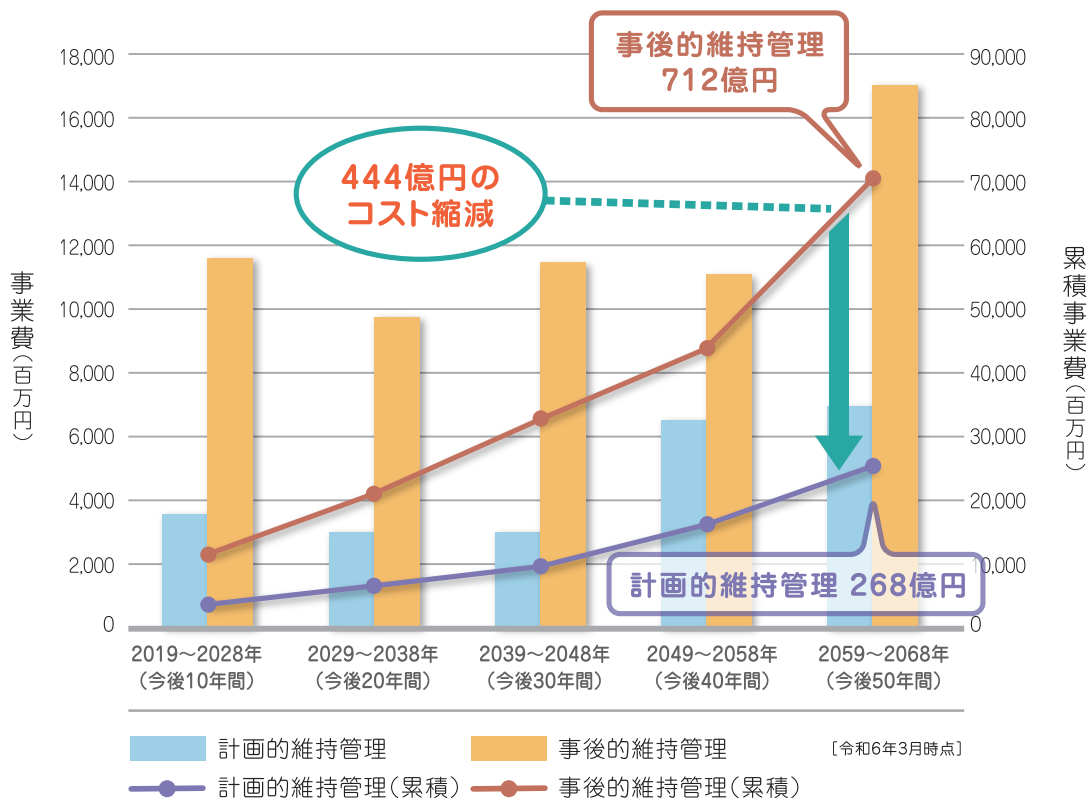


5 橋の 長寿命化 修繕計画

橋の総合評価値と橋の重要度から点数をつけ、橋の長寿命化修繕計画を進めていくための優先順位を決めました。



橋の維持管理水準や傷みの原因別の対策工法などを設定し、50年間の事業費を算定しました。その結果、計画的に維持管理していくことで大幅に費用をおさえることができます。



徳島市都市建設部道路建設課
〒770-8571 徳島県徳島市幸町2丁目5番地(本館5階)
TEL 088-621-5332 FAX 088-655-4999